

## ❖ 安全上のご注意

誤った使い方をしたときの危害や損害の程度を区分して説明しています。  
人への危害や財産の損害を防ぐため、必ずお守りください。



警告

「人が死亡または重傷を負う可能性  
がある」内容です。



注意

「人が軽傷を負うことや、財産に損害  
が発生する可能性がある」内容です。

守っていただく内容を、以下の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



必ずしていただく内容です。

### 設置するときのご注意



警告



- ・ 水のかかる場所や高温・多湿の場所、直射日光の当たる場所に設置しない。  
(事故や感電、発火などの原因)
- ・ 定格 15A、交流 100V のコンセント以外では使用しない。  
(事故や感電、発火などの原因)  
→本品は日本国内専用仕様です。
- ・ タコ足配線をしない。(事故や感電、発火などの原因)
- ・ 接触不良になりやすい、ゆるくグラグラするコンセントを使用しない。(事故や感電、  
発火などの原因)
- ・ 水周りで電源を入れたり、濡れた手で電源プラグを抜き差ししたりしない。(感電の原因)
- ・ アース線を水道の蛇口やガス管、電話のアース線や避雷針へは絶対に取り付けない。  
(引火や過電流のおそれ)



- ・ 電源プラグは根元までしっかり差し込む。(事故や感電、発火などの原因)
- ・ アース線を確実に取り付け。(故障や漏電のとき、感電の原因)
- ・ 丈夫で水平な床に、本品が傾かないよう設置する。(転倒、落下によるケガなどの原因)
- ・ 転倒防止金具を取り付けて、壁などに固定する。(地震などの振動による転倒の原因)
- ・ 移動時は、電源プラグをコンセントから抜く。(事故や感電、断線、発火などの原因)



注意



- ・ 油や可燃性ガスなどが漏れるおそれのある場所（暖房器具やコンロなど）の近くに  
設置しない。(事故やケガ、発火の原因)
- ・ 傷つきやすい床の上で、本品をすべらせたり、引きずったりして移動させない。  
(床を傷つける原因)
- ・ 屋外では使用・保管しない。(事故やケガ、故障、感電などの原因)  
→本品は屋内専用です。
- ・ 本品を横向きに置かない。(事故やケガ、破損の原因)
- ・ 運搬や掃除などの移動時は本品を傾けない。(故障の原因)
- ・ 転倒防止金具をサーバー本体に取り付けるときに、無理にサーバー本体を傾けたり、  
倒したりしない。(転倒防止板が外れたり、破損したりする原因)
- ・ 温水、冷水ボタン両方で出水させて、タンク内の空気が抜けたことを確認できるま  
では、ヒーターを ON にしない。(ヒーターが破損するおそれ)

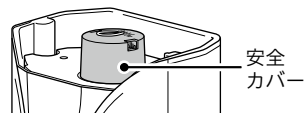


- ・ 必ず、ウォーターケースをサーバー本体にセットする前にウォーターパックを取り  
付ける。(水漏れやケガ、破損の原因)

## サーバー本体のご注意



- ・濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。(感電の原因)
- ・物を乗せる、よりかかる、傾けるなどの行為をしない。(落下や転倒などによる、事故やケガ、破損、汚れなどの原因)
- ・電源コードを傷つける、破損させる、束ねる、加工する、重いものを乗せる、引っばる、無理に曲げるなどの行為をしない。(感電や故障、火災の原因)
- ・可燃性スプレーを本品の近くで使用しない。(発火などの原因)
- ・お子様、身体の不自由な方(ただし、保護者や付き添いまたは専門家の監督の下で使用する場合を除く)だけで本品を使用しない。(やけどの原因)
- ・転倒させたり、ゆすったりしない。(水漏れやケガ、やけどの原因)
- ・給湯時は温水に手を触れたり、顔を近づけたりしない。(やけどの原因)
- ・背面の放熱パネルなどの高温部に触れない。(やけどの原因)
- ・サーバー本体に水をかけたり、水洗いしたりしない。(事故や感電、故障、発火などの原因)
- ・分解や修理、改造などをしない。(事故やケガ、故障、感電、発火などの原因)
- ・本来の用途目的以外では使用しない。(事故やケガ、破損、破裂、汚れなどの原因)
- ・破損した状態で使用しない。(事故やケガ、汚れなどの原因)
- ・ウォーターケースをセットするときに安全カバーに触れない。(安全カバー内部のウォーターパック開封ニードルによる事故やケガ、故障、感電などの原因)
- ・ウォーターパック交換時や清掃時などに、ウォーターパック開封ニードルを直接触らない。(事故やケガ、故障などの原因)
- ・ステータスライトが白色点滅以外のときにウォーターパックを取り外さない。(水漏れ、故障の原因)
- ・ウォーターケースをセットした状態で移動させない。(水漏れ、故障の原因)



- ・電源プラグを抜くときは、コード部を持たず、必ずプラグ部を持って抜く。(事故や感電、断線、発火などの原因)
- ・雷や停電、または電源コードが損傷、断線した場合は、電源プラグをコンセントから抜く。(事故や感電、発火などの原因)
- ・電源プラグのほこりなどは、乾いた布で拭くなどして定期的に清掃する。(事故や感電、発火などの原因)
- ・使用中に、サーバー本体に水がかかったり、内部に異物が入ったりした場合は、ただちに使用を中止する。その後、電源プラグをコンセントから抜く。(事故や感電、発火などの原因)
- ・使用中に動かなくなったり、本品から異臭、異音がしたりする場合は、ただちに使用を中止する。その後、電源プラグをコンセントから抜く。(事故や感電、発火などの原因)



注意



- ・キララ専用のウォーターパック以外の飲料は入れない。(故障や水質悪化の原因)
- ・推奨使用環境温度(16～32℃)以外の場所には設置しない。(水の凍結、事故やケガ、破損の原因)
- ・使用しない場合でも電源プラグは抜かない。(水質悪化の原因)
- ・火気を近づけない。(火災・故障の原因)
- ・お手入れのときは次の洗浄剤(シンナー、ベンジン、殺虫剤、塩素系・酸性タイプ)を使用しない。(ひび割れ・感電・引火・有毒ガス発生の原因)
- ・ウォーターケースをセットするときは、ウォーターケースを落下させたり、勢いをつけてセットしたりしない。(サーバー本体転倒によるケガの原因)
- ・ウォーターケースをセットした後、水がなくなるまでウォーターケースを持ち上げたり、ウォーターパックに触れたりしない。(水漏れ、故障の原因)
- ・サーバー本体にウォーターケースをセットしたままの状態、ウォーターパックを交換しない。(水漏れやケガ、故障の原因)
- ・ウォーターパックを床などに落とさない。(ウォーターパックの破損や水漏れの原因)



- ・ウォーターパックを取り付けるときは、正しい向き(穴が上側)でしっかりフックにかける。(水漏れ、故障の原因)
- ・再加熱やオートクリーンをした直後は、エコモードでも温水が高温(約90℃)になるので注意する。(やけどの原因)
- ・温水を出水した後、出水口に手などを近づけない。(やけどの原因)  
→温水を出水した直後、少量の温水が出水口から出ることがありますが故障ではありません。

## 炭酸シェイカーについてのご注意



警告



- ・キララ専用の炭酸シェイカー以外を使用しない。(事故やケガ、破損の原因)
- ・炭酸水生成中にキャップをゆるめない。(事故やケガ、破損の原因)
- ・炭酸水生成後は、ボトル内の圧力が高まるため、キャップを開けるときは絶対に人に向けてない。(事故やケガ、破損の原因)
- ・直射日光が当たる場所、または環境温度が5℃を下回ったり、40℃を超えたりするような場所(火気の近くや車中)では使用・保管しない。(破裂の原因)
- ・炭酸シェイカーを洗浄するときは、食洗機を使用したり、40℃を超えるお湯につけ置き洗いをしたりしない。(事故やケガ、破損の原因)
- ・落とす、ぶつけるなどの衝撃を与えない。(破損の原因)  
→そのまま使い続けると、事故やケガにつながるおそれがあります。
- ・変形、変色、傷や破損がある状態で使用しない。(事故やケガ、破裂の原因)  
→新しい炭酸シェイカーと交換してください。



- ・キャップは均等に、ゆるみのないように締めつける。(事故やケガ、破損の原因)
- ・炭酸ガスを注入するときは、炭酸コネクターに炭酸シェイカーが確実に接続できていることを確認する。(事故やケガ、破損の原因)
- ・炭酸水生成後は、ボトル内の圧力が高まるため、キャップをゆっくりとゆるめる。(事故やケガ、破損の原因)



注意



- ・サーバーの冷水以外(サーバーの温水や水道水、その他飲料)で炭酸水を作らない。(事故やケガ、破損の原因)
- ・炭酸シェイカーのボトルに直接口をつけて飲まない。(事故やケガ、破損の原因)  
→炭酸水生成後は、別の容器に移し替えてください。



- ・炭酸水を作るときは、ボトルが飛び出さないように、ハンドルとボトル両方を手で支えながら振る。(事故やケガ、破損の原因)  
→ハンドルのみを持って振ると、ボトルが外れることがあります。
- ・使用期限(使用開始から2年)を必ず守る。(事故やケガ、破損の原因)

## 炭酸ガスカートリッジについてのご注意



警告



- ・キララ専用の炭酸ガスカートリッジ以外は使用しない。(事故やケガ、破損の原因)
- ・直射日光が当たる場所、または環境温度が5℃を下回ったり、40℃を超えたりするような場所(火気の近くや車中)では使用・保管しない。(破裂の原因)
- ・炭酸ガスカートリッジに穴をあけたり、切断したりしない。(破裂の原因)
- ・炭酸ガスカートリッジに腐食(サビ)、傷、変形がある場合は使用しない。(破裂の原因)
- ・炭酸ガスカートリッジ内の炭酸ガスがなくなるまで、炭酸ガスカートリッジを取り外さない。(事故やケガ、破損、ガス漏れの原因)
- ・炭酸ガスの入っている炭酸ガスカートリッジを廃棄しない。(破裂の原因)
- ・気圧や温度差が大きな場所(飛行機や高地など)への持ち運びや同様の場所での使用はしない。(炭酸ガスカートリッジに高圧ガスが充填されているため、事故やケガ、破損の原因)
- ・お子様やペットに触らせない。(事故やケガの原因)
- ・落とす、ぶつけるなどの衝撃を与えない。(破損の原因)  
そのまま使い続けると、事故やケガにつながるおそれがあります。



使用中及び使用後は、炭酸ガスカートリッジが非常に低温となります。  
次の注意事項を守って使用してください。(故障やガス漏れ、凍傷の原因)

凍傷になった場合は、こすらずにぬるま湯で患部を加熱し、  
ガーゼなどで軽く包み、速やかに医師の治療を受けてください。



警告



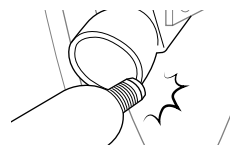
- ・炭酸ガスカートリッジの取り付け・取り外しは、滑り止めの付いた軍手やゴム手袋などを使用し、素手や濡れた手などで触れない。
- ・炭酸ガスカートリッジから直接噴出した炭酸ガスや使用中の炭酸ガスカートリッジに触れない。また、絶対に人に向けない。
- ・炭酸ガスカートリッジを取り付けるときは、ねじ込んでいる途中でゆるめない。
- ・炭酸ガスカートリッジを取り付けるときは、炭酸ガスが少量噴射しても、取り付けを中断せず、そのまま一気にねじ込む。
- ・炭酸ガスが残っている状態で炭酸ガスカートリッジを取り外して、炭酸ガスが勢よく噴き出した場合は、炭酸ガスや炭酸ガスカートリッジを素手で触らないように注意しながら、炭酸ガスカートリッジを屋外へ置き、炭酸ガスがなくなるまで放置する。合わせて、部屋を換気する。



注意



- ・炭酸ガスカートリッジをガス取付口にねじ込むときは、炭酸ガスカートリッジの先端などを取付口の端に当てない。(事故やケガ、破損の原因)



- ・炭酸ガスカートリッジを取り付けるときは、金具などに手を挟まないように注意する。(ケガの原因)